

令和5年度
学校だより

沼津市立愛鷹小学校

あしたか



志を持ち たくましく生きる人



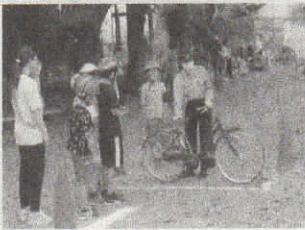
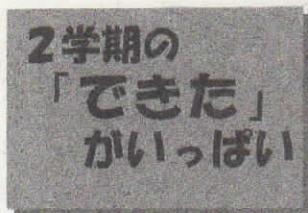
No. 10 12月22日

*親子でお読みください

「できた」がいっぱい…楽しく充実した冬休みを

8月25日（金）にスタートした令和5年度の2学期、授業日数82日間が終業しました。ウィズコロナからアフターコロナに向かい多くの挑戦を試みる中、予想外のインフルエンザの流行により、出席の制限や学級閉鎖をせざるを得ない状況となったことは、とても残念でした。健康で当たり前な学校生活を送れることの大切さ、ありがたさを改めて感じた2学期でした。

そのような中、人数制限をしない運動会や東京方面への修学旅行など、さまざまな挑戦ができたことは、大きな収穫と考えています。今後も、新しい学びのスタイルも取り入れながら、「できたがいっぱい」をめざし、教育活動を進めてまいります。変わらぬ御協力をお願いいたします。



＜冬休みに向けて＞

楽しく充実した冬休みにするために、3つのことを提案します。

1 すてきなあいさつを

毎朝、学校入り口の坂の下で子供たちの登校の様子を見ています。元気に「おはようございます」ができる子供がほとんどです。以前は、こちらから声をかけないとあいさつができない子供も目立ちましたが、今では子供たちの方から、私や見守り隊の方々に「おはようございます」と自然にあいさつができるようになりました。

さて、お正月を迎える冬休みは、普段は合わない人に会う機会も増えると思います。そんなとき、ぜひ子供たちから進んで「あけましておめでとうございます」が言えるように仕向けてもらえればと思います。あいさつはお互いの気持ちをあたたかくしてくれます。よい新年のスタートとなるのではないのでしょうか？「学校では、進んであいさつができるけど、家庭や地域ではなかなか…」という声もあります。年の初め、この機に、様々な人に自分から大きな声であいさつをすることに挑戦してほしいと思います。

2 家族の一員として働く

年末は、大掃除をする家庭が多いと思います。ぜひ子供たちに大掃除を手伝わせてほしいと思います。「大人がやった方が速い」ということもあるでしょうが、「家族の一員として働く」ことに大きな意味があると思います。特に子供たちが使うところは、子供を主担当として(必要なときには手伝ってあげてください)がんばらせてほしいです。家庭は小さな社会であり、これから大きな社会の一員として育てていく子供たちにとっては、社会の一員として働く素地をつくる場所でもあります。大掃除は絶好の機会となるのではないのでしょうか？

3 お金の使い方は、家族で相談して

毎年、お年玉の使い方は話題になります。貯金するばかりがよいとは思っていませんが、無計画な使い方は心配になります。お年玉として、いつもより多くのお金を手にする子供たち。この機会に、お金の大切さや使い方、管理のあり方などを家族と相談できるとよいと思います。お金に関連したトラブルや犯罪について話題にすることもよいと思います。カード決済が進む社会です。だからこそ、子供たちにきちんとした金銭感覚を育てたいものです。